

大地と自然と人の暮らしがつながる

南アルプスジオパーク

みりよくの魅力を知らう！



(中央構造線エリア)

南アルプスの大地(ジオ)と自然(エコ)と人のつながり

南アルプスは、現在でも日本列島最速レベルで高くなり続けており、その麓には大断層「中央構造線」が走っています。また、南アルプスには、氷河時代からの生き残りや世界中でもここだけにしかない生きものなど貴重な種が多く生息し、今なお続く大地の激しい変動や厳しい自然環境は、この地域に特有な景観や文化をつくり出してきました。南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークでは、この大地と自然とそこで営まれる人々の暮らしが見どころとなっています。

このエリアは、2008年に日本ジオパークに認定されました。南アルプスの長野県側の尾根から伊那山地の尾根までの細長いエリアがジオパークで、伊那市、大鹿村及び飯田市の区域の自治体と関係団体で活動に取り組んでいます。



ジオの見どころ

南アルプスをつくる、遠い海からやってきた岩石

南アルプスの大部分をつくっているのは、大昔の海底火山の溶岩や海の底に積もったプランクトンなどの死骸、川から流れ込んだ砂や泥などが固まってできた岩石です。



赤色チャート

3,000m級の山々の連なり

もり上がる山々と削られる深い渓谷がつくる雄大な景観

南アルプスは、地球の表面を覆うプレートの動きによって太平洋の方から押し上げられ、現在でも年間4mmという速さで高くなり続けています。一方で、高い山に降ったたくさんの雪や雨が川となり深い谷を削り続けています。この活発な隆起と侵食が、現在の南アルプスの雄大な景観をつくっています。



日本列島を貫く巨大な断層“中央構造線”

海の底でできた南アルプスの地質と大陸の地下でできた伊那山地の地質が合わさって中央構造線ができています。この巨大断層の動きによって侵食され、南北に大きな長い谷ができました。

中央構造線に沿った谷地形

中央構造線

伊那山地

エコの見どころ

高い山、深い谷に暮らす多様な生きもの

南アルプスは山頂から谷底までの標高差が大きく、標高によって多様な動植物が生息しています。世界の生息地の南限になっているライチョウや、南アルプスにしかない生きものなど、厳しい環境に適応した貴重な生きものが数多く暮らしています。



ライチョウ



原生林



カモシカ

高山植物

南アルプスを水源とする河川

南アルプス(赤石山脈)

ヒトの見どころ

大地から知る激しい自然の営み

南アルプス周辺は、険しい地形やもろい地質が多いため土砂災害などが起こりやすい地域です。そのため、防災事業に取り組み、住みやすい環境づくりが進められています。



大地に残る地震の跡



水害対策



地すべり対策



集落のでき方



林業



ジビエ



作物

山あいであつちかわれた固有の文化と人々の暮らし

豊かな自然の恵みを受けて人々は生活を営み、中央構造線沿いの谷を通して人や文化が往来しました。暮らしの中に自然と共生してきた人々の工夫が詰まっています。

世界に広がるジオパーク!

私たちの暮らす大地は、はるか昔から現在までの地球の活動によって形づくられています。山や川、そこに暮らす生きもの、人の営みや文化、産業はその土地の形や特徴になじむように発展してきました。つまり、そこにある大地が「地域らしさ」をつくる基になっているのです。ジオパークとは、貴重な大地の遺産を守りながら、私たちとのつながりを五感を使って学び楽しみ、私たちの地域や地球の未来について考える取り組みです。



ジオパークは日本だけでなく世界中で取り組まれています。日本には、ユネスコが認定した「世界ジオパーク」と日本ジオパーク委員会が認定した「日本ジオパーク」があります。



▶ 南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークの魅力を探ろう!



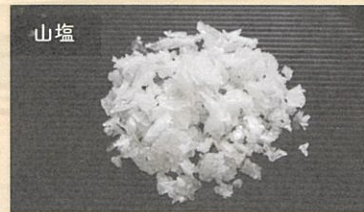
御池山から南アルプスを望む
(御池山隕石クレーター)

南アルプスを眺めながら、2~3万年前に小惑星が衝突してできた、御池山隕石クレーターの縁を歩くハイキングが楽しめます。



三峰川にらみを利かせる
大聖不動明王

全国に優れた作品を数多く残した「高遠石工」。人の暮らしの中に「石」や「技」、「想い」が受け継がれています。



山塩

大鹿村鹿塩の地では、塩水が湧いており、温泉としての利用の他、製塩も行われています。



大鹿歌舞伎

大鹿歌舞伎は、江戸時代から続く地芝居で、現在も年2回の定期公演が上演されています。



山あいの斜面とそばの文化

お米を作りにくい山あいの斜面では昔からそばを始めとする雑穀が栽培され、そば文化の土台となっています。

ジオパークの活動を知ろう!

守る

南アルプスの特徴的な地形や地質、豊かな自然や文化、暮らしを守ることは「地域らしさ」を守ることにつながります。ジオツアーや様々な学習会などで地域の価値を伝えます。



地元による清掃や保存の活動



高山植物を守る鹿よけの柵の設置

学ぶ

私たちの地域はどのようにして発展してきたのか、大地をベースに様々な特長を学ぶことで、地域の新たな価値や魅力を再発見し、地域のより良い暮らしと未来を考える人を育みます。



中央構造線露頭での学習



河原での石ころウォッチング

活かす

ジオパークでは、大地の成り立ちや地域のことを楽しく学ぶジオツアーを行っています。大地とのつながりを防災や産業にうまく活かすことで、将来にわたって暮らし続けられる地域を目指します。



自然や文化を楽しく学ぶツアー



南アルプスの景観や星空を満喫